

俳諧歲時記

冬

昭和廿二年十一月廿五日 刷
昭和廿二年十一月初 發行
昭和廿四年十一月三十日 五刷 發行

定價金四二〇圓

俳諧歲時記 (冬の部)

編者 平田貫一郎

發行者 平田貫一郎

東京都中央區京橋一丁目三番地

印刷者 淺野剛

東京都大田區田園調布二丁目三番地

東京都中央區京橋一丁目三番地

發兌 改造社

振替口座東京八四〇二番
電話 京橋四 一六二〇番
五六一九番

東京都千代田區神田淡路町二ノ七
配給元 日本出版配給株式會社

印刷所 東京都大田區田園調布一丁目一三四番地
株式會社 金羊社
製本所 東京都港區芝南佐久間町二丁目一番地
株式會社 小高製本所

例言

一、本書は「俳諧歳時記」冬之部とす。

一、冬之部に採用せる季題の選定並びに排列の順序は、専ら解説擔任者の意見に依りたるも、古書校註の部にのみ存する古季題は、編輯部に於て適當と認むる箇所に挿入せり。

一、冬之部收載季題の範圍を、他季との區別上便宜示せば、立冬より立春の前日迄を基準とし、これに陽曆十一月・十二月、及び陰曆、十月・十一月・十二月を割り當て接配したるものなり。隨つて陰曆十二月に屬する季題は、陽曆に換算すれば一月となるものも冬之部に入りたり。即ち現在行はれざる古季題、或は今日舊曆の十二月に行はれ居る行事等は之に屬す。但、陽曆一月の季題は新年之部に入るも、新年行事と關係なきものは冬之部に入りたるものあり。

一、冬之部の季題中、秋之部又は新年之部等に重出せるもの數ヶ所あるも、これは便宜のため兩者に入れたるものにして、季の決定は兩者を對照すれば判明するよう心掛けたり。

一、本書收載の例句は、句作並びに鑑賞上の便を考慮し、名句集を兼ねしむるため、從來の例を遙かに遡り句數の採擇をなひて收容せり。排列は擔任者の意向による。

一、參考の部分擔は別記の通りなるも、排列の結果、他の部門に屬する様なりたるものは、該部門の擔任者と區別するため、特に筆者の姓を文末に附したり。

一、插畫は高濱氏の選定を主とし、之に編輯部に於て追加せり。尙、牧野・寺尾兩博士の好意をも得たり。

一、本書の執筆分擔は左の如し。

季題解説
實作注意
古書校註
參 考

高濱 虛子
志田 義秀

時候・天文

人事

宗教

動物

植物

國富 信一
武田 祐吉
山本 信哉
寺尾 新
牧野 富太郎

昭和八年十月

序

初め改造社から俳諧歳時記の春之部・冬之部の二冊を編輯することの相談を受けた時分に、私は多忙でもあるし其任に非ずと云つて辭退した。けれどもたつてとの事であつたので、富安風生・山口青邨の二君の助力を俟つことによつて遂に承諾することになつた。兩君もそれ〴〵多忙な境涯に居られるに不拘、計畫・總攬・校訂・整理・選句等のことに任じて私の勞をして極めて妙からしめたことを深謝する。其他ホトトギス同人諸君を初めとして、幾多の人々の解説の勞を分擔せられた事を深謝する。又、井手原太郎君が事務・筆寫等の一切の煩勞を執られた事を深謝する。

尙、冬之部の解説に當られた諸君は概ね左の如くである。

東京	松	藤	夏	山	君	朝鮮	清	原	枋	童	君	
京都	池	尾	ながし	君		大阪	藤	田	耕	雪	君	
東京	安	田	蚊	杖	君	鎌倉	松	本	たかし	君		
北海道	石	田	雨	圃	子	丹波	西	山	泊	雲	君	
東京	鈴木	花	蓑	君		東京	池	内	たけし	君		
堺	山	本	梅	史	君	滿洲	江	川	三	味	君	
東京	三	宅	清	三	郎	縣	山	本	孕	江	君	
大阪	皆	吉	爽	雨	君	縣	山	本	岬	人	君	
船橋	齋	藤	雨	意	君	下關	日	原	方	舟	君	
大阪	日	野	草	城	君	門司	熊	岸	寸	亭	君	
三河	岡	田	耿	陽	君	東京	石	島	雉	子	郎	君
大阪	富	岡	犀	川	君	新潟	中	田	みづ	ほ	君	
大阪	大	橋	櫻	坡	子	東京	佐	藤	深	人	君	
京都	鈴	鹿	野	風	呂	九州	杉	田	久	女	君	
大阪	山	口	蟹	子	君	東京	中	村	草	田	男	君
大阪	田	村	木	國	君	大阪	皿	井	旭	川	君	
神戸	岩	木	露	岡	君	山陰	山	本	村	家	君	

この他、二三項宛不明なものを依頼したもの、或は報告されたうちから採用したもの等は甚だ多数であつたため、芳名は省略する。

其他、新題の報告・舊題の参考・日々の自然現象の報告・希望・訂正など、各地から熱心に送つて貰つたものは夥しい數に上つた。これ亦一々芳名は記載しない。これらの取捨は全體との調和を考慮して決定した。

尙、「年中行事」「山茶花」からは夫々挿繪・新題等二三採録する便宜を得たことを附加し、共に深謝する次第である。

昭和八年九月十一日

高 濱 盧 子

凡 例

一、當方で解説を附した季題は總數六九二項、これを時候・天文・地理・人事・宗教・動物・植物の七部門に分類し、この配列の順序は所信に従つて決定した。新題、舊題の整理も出来るだけ行つた。

二、季題解説は凡て事實を根底とし、一應全國の同人に依頼し、集つたものを再訂三訂し、更に不明なものは何回でも問合せた。地方的なものの専門的なものは凡てその地方の人、専門の人の言を徵し、若くは實地調査した。この爲め古題は稍々面目を新たにしたかと思ふ。

三、新題は北海道・樺太・朝鮮・滿洲・臺灣に亘つて、沿く楳を飛ばして蒐集し、嚴選した。その他、各地からの夥しい報告を取捨し、現行歳時記を涉獵し、新題で收録すべきものは、一々各作家に解説を求めた。

一、例句は總數九千餘句、うち左の三十六家、約四千六百句は改造社より必ず加ふべき句として指定されたものであつて、當方の權限外である。

宗因 芭蕉 鬼貫 首水 素堂 來山 浪化 丈草 去來 其角
嵐雪 許六 惟然 北枝 支考 杉風 沾穂 桃 千代 燕村
太祇 召波 樗良 也有 蓼太 几董 白雄 曉臺 閑史 士朗
巢兆 成美 一茶 乙二 蒼虬 梅室

但しこれら古句は一句々々定本によつて校合した。

其他の古句は當方で選録した。其等の句の出典は一々明にした。

尚、出典は概ね原書名通り明記したが、左の五書は長いため下の如く略記した。

同人俳句集は	同人
懸葵第一句集は	懸葵
ホトトギス雜詠全集は	ホトトギス
續ホトトギス雜詠全集は	續ホトトギス
同 全集以後は	ホトトギス誌

高 濱 虛 子

凡例

一、擔當の古書校註の部分の編輯の方針及び引用書は、夏之部・秋之部と略と變りはない。

一、引用書は凡て原本に據つたが、日次記事は珍書同好會複製本に據り、滑稽雜談は帝國圖書館本に據ると共に、國書刊行會印刷本を參照した。

一、馬琴の俳諧歲時記と青藍の葉草とに就いては、俳諧歲時記として引く方がよいと思はれるものゝ外は、便宜上凡て葉草を引いて置いた。

一、通讀の便の爲め、送假名を施し、それは正しきに従つたが、原文の假名遣は、成るべく原文の倂を存する意味で、一切改めぬ方法を取つて見た。それ故假名遣の一致せぬ所があるが、それは判別がつく筈である。

一、原文に振假名のないものでも、取意上振假名のある方がよいと思はれる語には、成るべく振假名を施して置いた。

一、註は簡略に失する嫌があるが、成るべく考證的な方面を主として見た。

昭和八年十月

志田 義 秀

部類目次

時	候	一
天	文	四九
地	理	一三五
人	事	一四三
宗	教	三八二
動	物	四七三
植	物	五三七

壹の口切	歌舞伎雛子初	歌舞伎顔見世	芝居の正月	餅搗芝居	新嘗祭	豊明節會	五節の舞	小忌衣	明治節	氷魚の使	孟冬の旬	爐炭を運る	冬の更衣	射場始	殘菊の宴	下元の節	郁子の貢	履・襪を獻る	御髮上	忌火の御飯	御體の御占	着駄の政	屠の奏	初雪の見參	雪山	神宮薙技	観菊御會	正倉院曝涼	事納	事始	冬奉公	柚湯	七五三の祝	帶解	袴著	髪置
二七	二九	二九	三三	三三	三三	三三	三三	三六	三七	三七	三七	三七	三八	三八	三八	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

夷文拂講	贅文出	歳暮賣市	年の市	羽子板市	才藏市	疊若賣	春聯賣	門松の替	歳暮祝	衣配	煤掃	煤籠	煤湯	曆果	曆の賣	古曆	日記買ふ	賀狀書く	鶏舎あたゝむ	馬下ける	掛乞	注連作	年忘	年末賞與	年賞納	藏著	御用納	終相納	書納	斧仕舞	車藏ふ	節料物	年用取	年守
二二七	二二〇	二二一	二二一	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二五	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六

分納歳	岡見	千笑	糴を食ふ	晦日蕎麥	節手候	厄拂	厄落	鑊の枕	寶船敷	寒施行	粥施行	避寒	寒舞	寒見	雪見	寒稽古	相撲寒取	寒復習	寒聲	寒彈	懷紅手	日向ぼこり	息白し	綿入	綿子	綿著	食著	夜衾	紙衾	蒲團	蓑團	背蒲團	肩蒲團	腰蒲團	菊枕
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六

春仕込	春支度	被布	外套	コトル	シヨル	襟巻	髭袋	耳袋	手袋	マフ	マフ	足袋	股引	頬被	覆面	冬帽子	雪子	綿子	風防	頭皮織	冬羽織	冬シャツ	冬服	冬著	角巻	毛布	毛皮	毛衣	紙子	襦袍	胴著	重著	著ね	厚司	ねんね	ちやん
三〇一	三〇一	三〇〇	三〇〇	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九	二九九

蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈	蕎麥刈
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

甘藷刈	大根引	大根洗	蓮根掘る	人参採	紫根掘る	生姜掘る	葛根掘る	干菜吊る	干菜湯	切干製す	大根干す	燕薺干す	澤庵漬製す	寒曝	寒搗	味噌搗	天草ふむ	寒天製す	蒟蒻凍らす	豆腐凍らす	水餅造る	霰餅造る	寒の水	新干大根	新干燕	新海苔	浅漬	大根配	莖漬	牡蠣船	薬喰	山鯨	狸汁	河豚汁	河豚酒	河豚ちり		
三〇三	三〇三	三〇三	三〇六	三〇六	三〇七	三〇七	三〇八	三〇八	三〇九	三〇〇	三〇〇	三〇一	三〇一	三〇二	三〇二	三〇二	三〇三	三〇三	三〇三	三〇四	三〇四	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇七	三〇七	三〇七	三〇八	三〇八	三〇八	三〇九	三〇九	三〇九

賀茂臨時祭	三九六	宇賀祭	三九七	齋宮給馬	三九七	難波の綱引	三九七	どやどや祭	三九八	和布刈の神事	三九八	山の神祭	四〇〇	土牛童子像を立つ	四〇〇	荷前使	四〇一	神樂	四〇三	里神樂	四〇五	五條天神參	四〇六	お火焚	四〇七	西の市	四〇八	大神宮札配	四〇九	札納	四一〇	納の水天宮	四一一	終天宮	四一一	納の金毘羅	四一二	納の庚申	四一二	年越の祓	四一三	年越詣	四一四	節分詣	四一四	厄塚	四一四	年籠	四一五	大原鯉魚寝	四一六	加年拂	四一六	子祭	四一八	子祭	四一八	箕子祭	四二〇	箕子祭	四二〇	王子狐火	四二二	拜壇	四二三	臘日	四二三	曾根院論義	四二四	東叡山開山忌	四二四	大師講	四二五	臘八會	四二六
-------	-----	-----	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-----	------	-----	----------	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	----	-----	----	-----	-------	-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----

遠磨忌	四二七	冬安居	四二八	興福寺法華會	四二九	維摩會	四二九	母尾蟲供養	四三〇	鹿王院舍利開帳	四三〇	東福寺開山忌	四三〇	十夜	四三二	吉祥院八講	四三三	法勝寺大乗會	四三四	永觀忌	四三四	善福寺開山忌	四三四	御正忌	四三五	御取越	四三七	精進落	四三八	鳴瀧の大根焚	四三八	御命講	四三九	空也忌	四四二	鉢叩	四四二	妙心寺開山忌	四四三	最勝寺灌頂	四四五	佛名會	四四六	終大師	四四七	大德寺開山忌	四四七	時宗歲末別時	四四八	御魂の冬	四四八	除夜の鐘	四四八	寒參	四四九	寒垢離	四五〇	寒念佛	四五一	星佛	四五三	追儺	四五三	豆撒	四五五	杵搯	四五七	鬼挿	四五八	神農祭	四五八	熊祭	四五九
-----	-----	-----	-----	--------	-----	-----	-----	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----	-----	-------	-----	--------	-----	-----	-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----	--------	-----	------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	----	-----

義士會	四六〇	八幡起焚祭	四六〇	海苔祭	四六一	クリスマス	四六一	社會鍋	四六二	貞徳忌	四六三	芭蕉忌	四六三	近松忌	四六五	夕霧忌	四六五	土芳忌	四六六	燕村忌	四六六	几圭忌	四六七	一茶忌	四六八	いも供食	四六八	漱石忌	四六九	宗鑑忌	四七〇	嵐雪忌	四七〇	來山忌	四七〇	浪化忌	四七〇	几童忌	四七〇	著名神社例祭表	四七一	熊	四七二	熊穴に入る	四七三	猪鹿	四七三	猪の鹿	四七四	冬角解	四七五	栗角解	四七五	狐	四七六	狸	四七六	狼	四七八	狚	四七八	狚	四七九	兎	四七九	龜	四八〇	鯨	四八〇
-----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	---	-----	-------	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

あ	え	雪	冬	麥	葱	莖	蕪	胡	大	冬	葉	寒	冬	名	枯	冬	龍
を	の			の				蘿			牡	獨		の	の	の	の
さ	き	茸	芽			菁	菁	萄	根	菜	丹	活	蔞	草	枯	草	實
	た													る	草	草	

五九八	五九八	五九八	五九八	五九七	五九六	五九六	五九五	五九四	五九四	五九二	五九二	五九二	五九一	五八七	五八五	五八五	五八五
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

時 候

冬

三多 九多 玄英 安寧 靜順 黒帝 玄帝 順頤 玄冥 上天
羽音 律隱

古語

【滑稽雜談】 禮記に曰、冬の言たる、中也。中は藏也。註に、物の藏は、必ず外より内に入る。故に曰、中は藏也。(略)○蔡邕月令に曰、冬は終也。萬物は是に於て終る也。○易の通統圖に曰、日北方黒道を行く。北陸と曰ふ。之を冬と謂ふ。○和訓義解に云、(一)冬をふゆと訓ぜしは、ひゆといふ心也。天氣寒くてひゆる故なり。ひとふと相通ず。

【年浪草】 漢書律曆志に曰、太陰は北方、北は伏也。陽氣下に伏す。時に於て冬たり。冬は終也。物終藏して乃ち稱す可し。尙書大傳に云、北方は伏す方也。萬物の方に伏す也。冬は中也。物方に中に藏する也。陽盛んなるときは、則ち萬物を吁茶して之を外に養ひ(夏と謂ふ)、陰盛んなるときは、則ち萬物を呼吸して之を内に藏す。故に曰、呼吸は陰陽の交接、萬物の始終なり。

註 ○なほ滑稽雜談には、異名として、玄英・玄冬(注に安寧・三多・九多がある)、靜順・貞冬・惜冬・隆冬・履冬・頑冬・頑冬・元冬・盛冬・大冬・黒帝等を擧げ、年浪草に掲げる諸項・玄冥・上天・羽音・律隱等も異名である。湯山井には玄帝もある。(一)此の説を年浪草には日本國名に依つて擧げておる。

十一月初め立冬より二月はじめ立春の前日に至る間の季節を言ふ。三冬は初冬、仲冬、季冬の稱、九冬は冬九十日の稱である。(然し歲時記に於ては便宜上、十一月、十二月、一月を冬とする習慣になつてゐるやうだ。)

例 句

冬ざきや隠逸傳の翁ぐさ 宗 因 (相兼宗因傳集)
石かれて水しほめるや冬もなし 芭 蕉 (東 日 記)
冬庭や月もいとなるむしひの吟 同 (芭蕉翁全傳)
冬もまた松の木持てむかひけり 鬼 貫 (鬼貫句選)
何ふるときだぬ冬ぞたのもしき 同 (俳諧七車)
冬見れば松にひきそふ茶白山 來 山 (續いま宮卿)
うちやむに間のなき冬の碇かな 同 (同)
帆かけ舟あれや堅田の冬けしき 其 角 (五 元 集)
夕暮を惜む隙なし冬景色 支 考 (連二吟集)

